祖師谷地区防災計画

［令和7年修正］

祖師谷地区

【祖師谷地区防災計画作成団体】

祖師谷第2自治会	祖師谷商店街振興組合
祖師谷第３自治会	祖師谷昇進会商店街振興組合
祖師谷第４自治会	世田谷区赤十字奉仕団祖師谷分団
祖師谷第５自治会	民生委員・児童委員協議会
祖師谷第6自治会	祖師谷地区社会福祉協議会
祖師谷千歳台自治会	祖師谷地区ごみ減量・リサイクル推進委員会
祖師谷住宅自治会	ミニコミ紙編集委員会
藤自治会	祖師谷あんしんすこやかセンター
千歳台睦町会	祖師谷児童館
千歳台南会	祖師谷小学校
祖師谷３丁目南町会	塚戸小学校
千歳中学校	

目 次

1 祖師谷地区の特性…… 祖師谷-1(-716-)
(1)自然特性 …… 祖師谷-1(-716-)
(2)社会特性……祖師谷-2(-717-)
(3)地域危険度 ……祖師谷-4(-719-)
(4)被害想定……祖師谷-5(-720-)
(5)防災資源一覧……祖師谷-8(-723-)
(6)防災資源マップ ……祖師谷-9(-724-)
(7)区民アンケート…… 祖師谷-10(-725-)

2 各団体の防災活動～現在の取組状況～…… 祖師谷-19(-734-)

3 祖師谷地区の課題と取り組み ……祖師谷-24(-739-)
(1)初期消火・延焼防止 ……祖師谷-25(-740-)
(2)安否確認(要援護者含む)と情報収集 ……祖師谷-27(-742-)
(3)救出救命と避難支援……祖師谷-29(-744-)

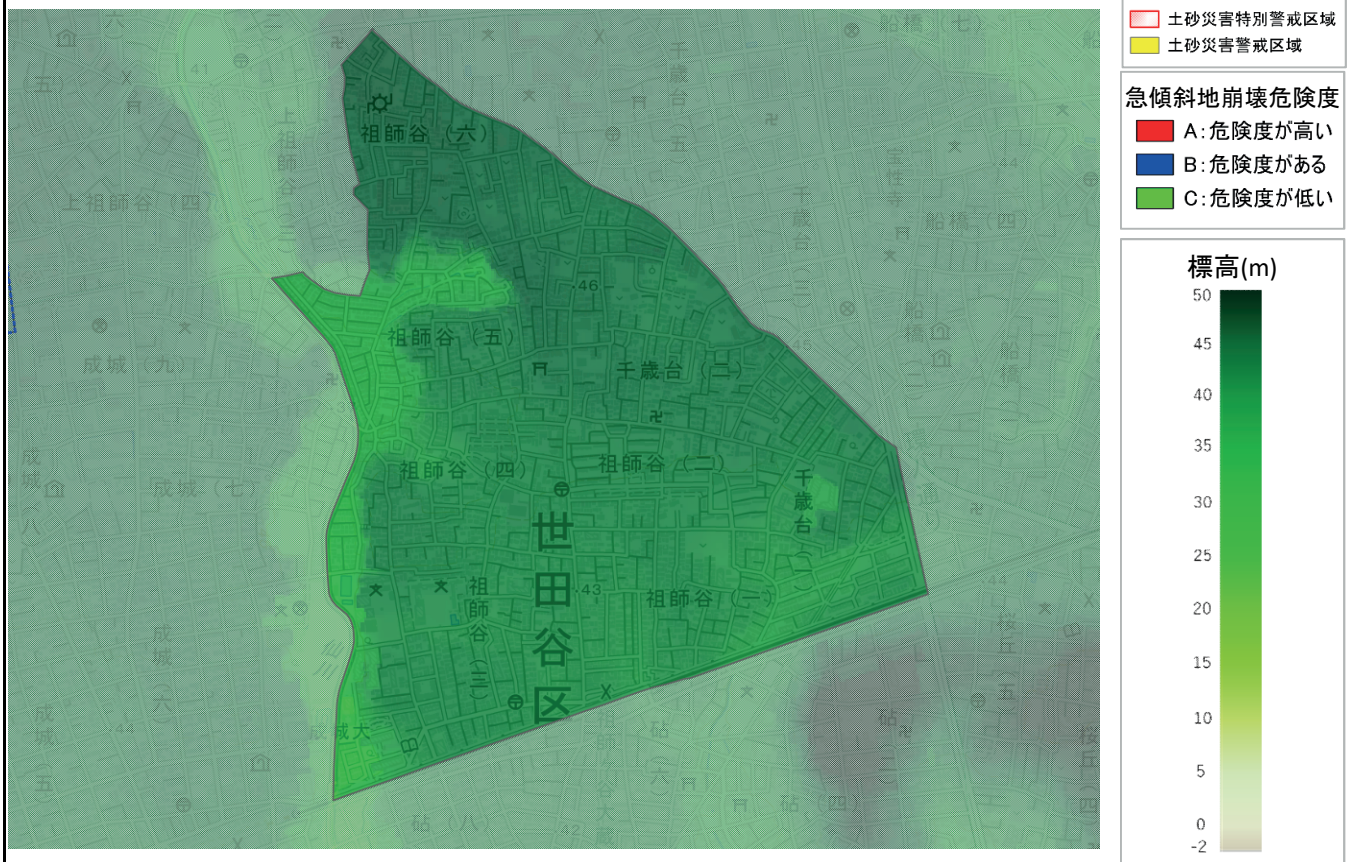
1. 祖師谷地区の特性

(1)自然特性

面積	1.67　Km²	最高標高	47.4　m	最低標高	30.4　m

位置

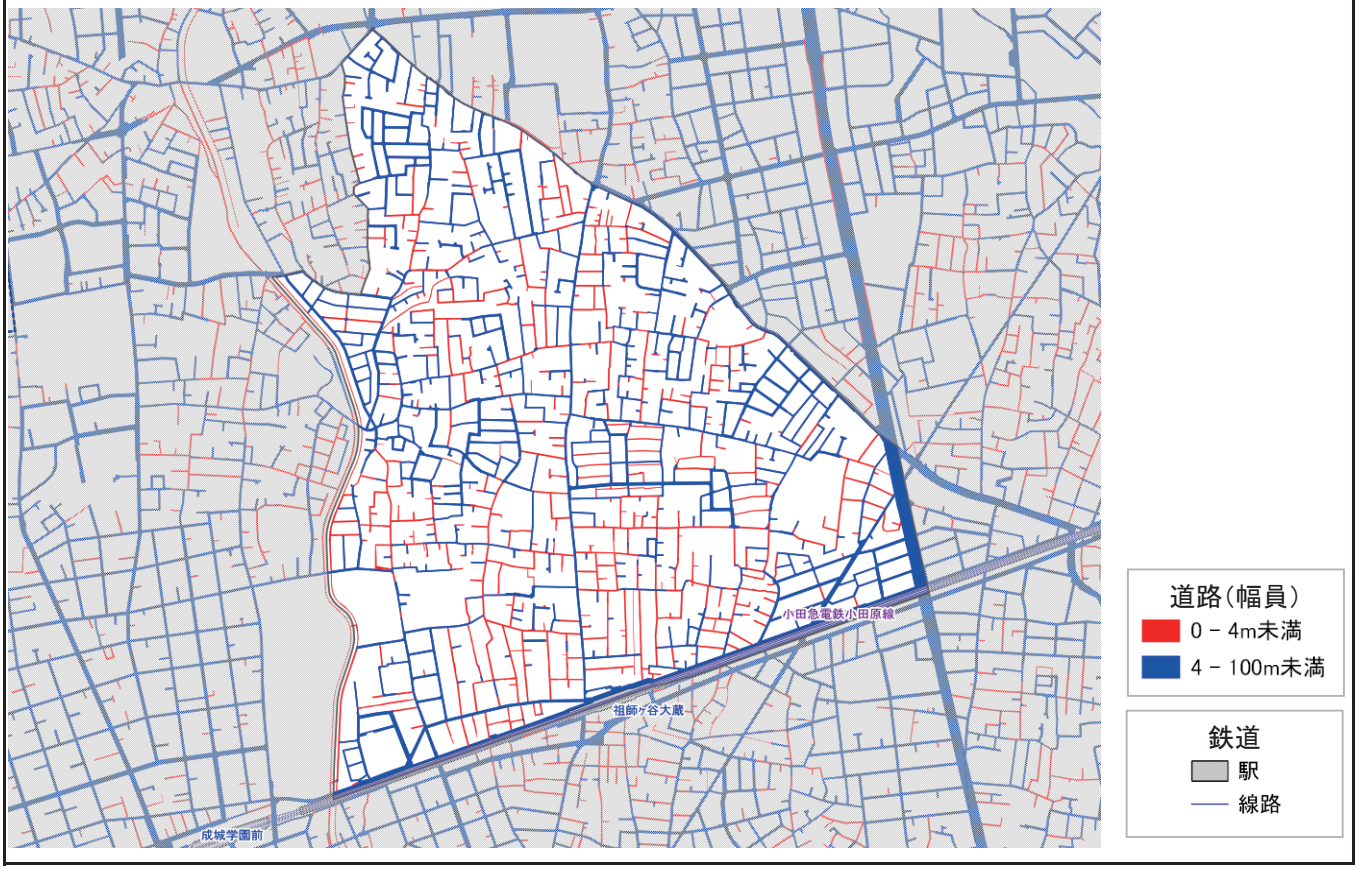
標高・急傾斜地崩壊危険度・土砂災害警戒区域等



(2)社会特性

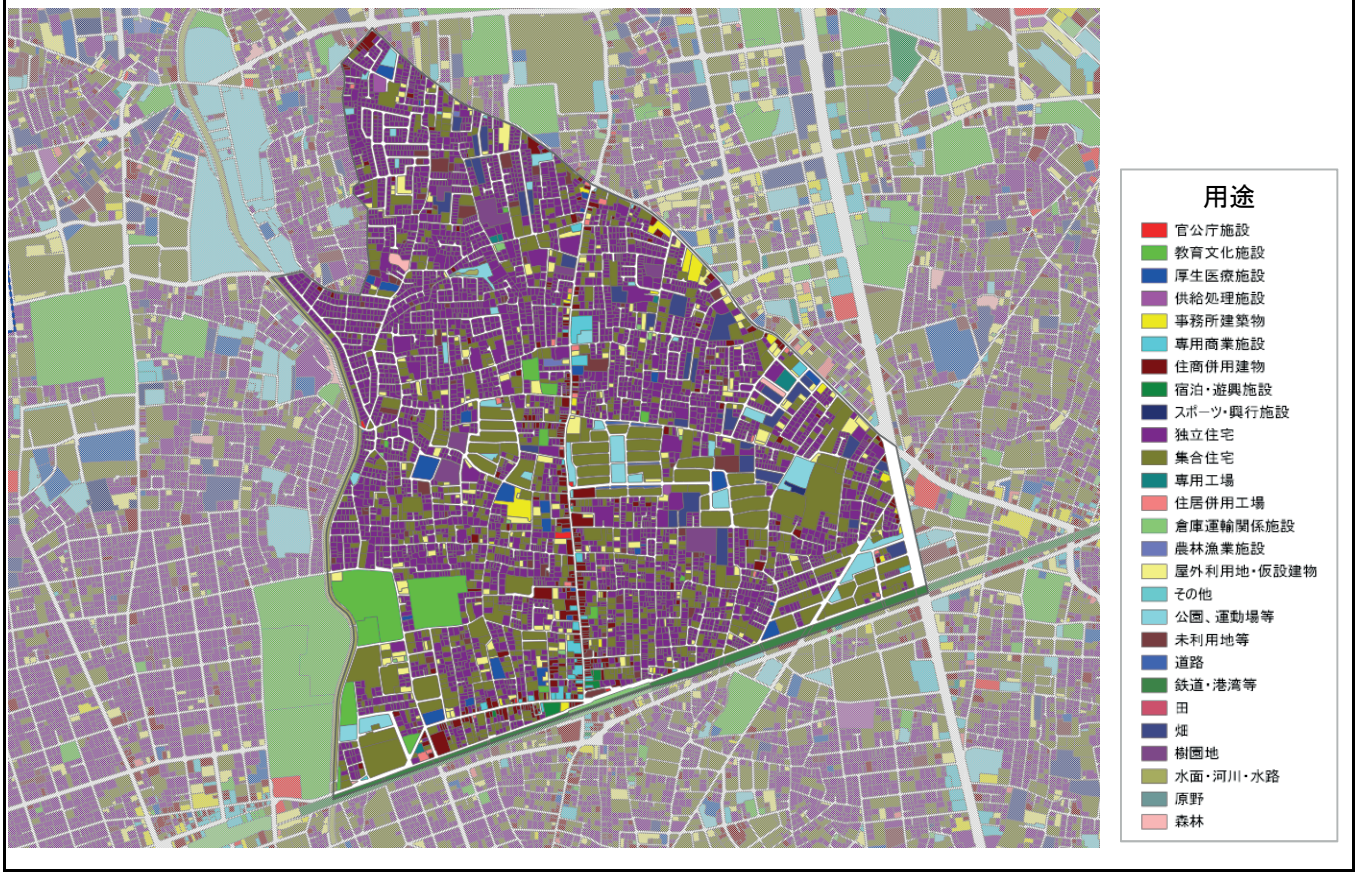
人口	26,464	人	細街路率		39.8 %
世帯数	13,276	世帯	昭和56年以前木造建物棟数密度		83.3 棟/K㎡
1世帯あたり	1.99	人	耐火率(建築面積ベース)		58.2 %
若年層数(15才未満)	3,206	人	土地利用(宅地)		71.3 %
若年層率(15才未満)	12.1	%	土地利用(宅地以外)		28.7 %
高齢者数(65才以上)	6,015	人	鉄道駅	小田急小田原線祖師ヶ谷大蔵駅	
高齢者率(65才以上)	22.7	%			
昼間の人口	18,368	人	産業	商業	52.2 %
夜間の人口	27,409	人		工業	6.9 %
昼夜間人口比	0.67	-		農業	41.0 %
町会・自治会数	11	-			

道路・公共交通機関



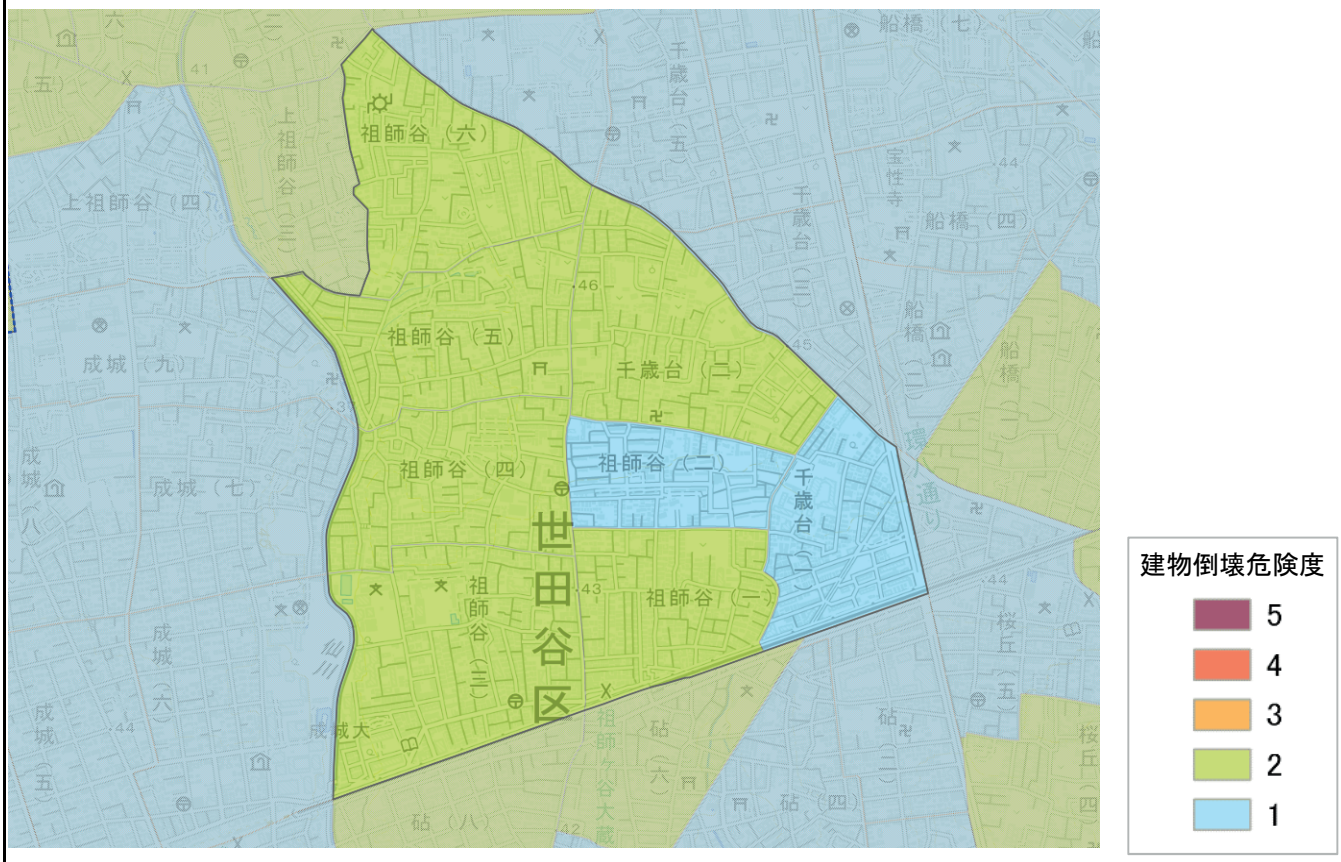
(2)社会特性

産業

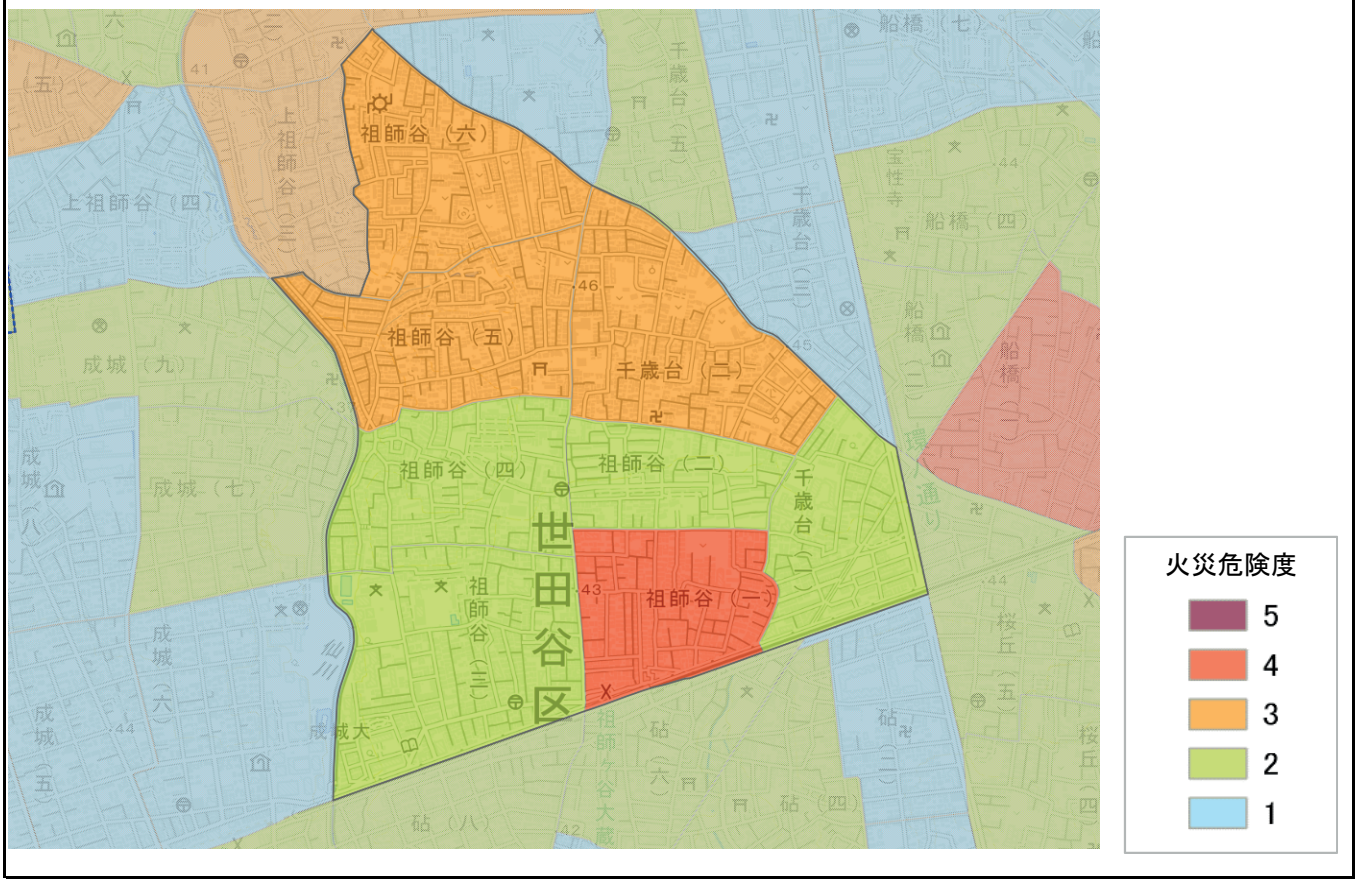

用途
官公庁施設
教育文化施設
厚生医療施設
供給処理施設
事務所建築物
専用商業施設
住商併用建物
宿泊・遊興施設
スポーツ・興行施設
独立住宅
集合住宅
専用工場
住居併用工場
倉庫運輸関係施設
農林漁業施設
屋外利用地・仮設建物
その他
公園、運動場等
未利用地等
道路
鉄道・港湾等
田
畑
樹園地
水面・河川・水路
原野
森林

(3)地域危険度

建物倒壊危険度



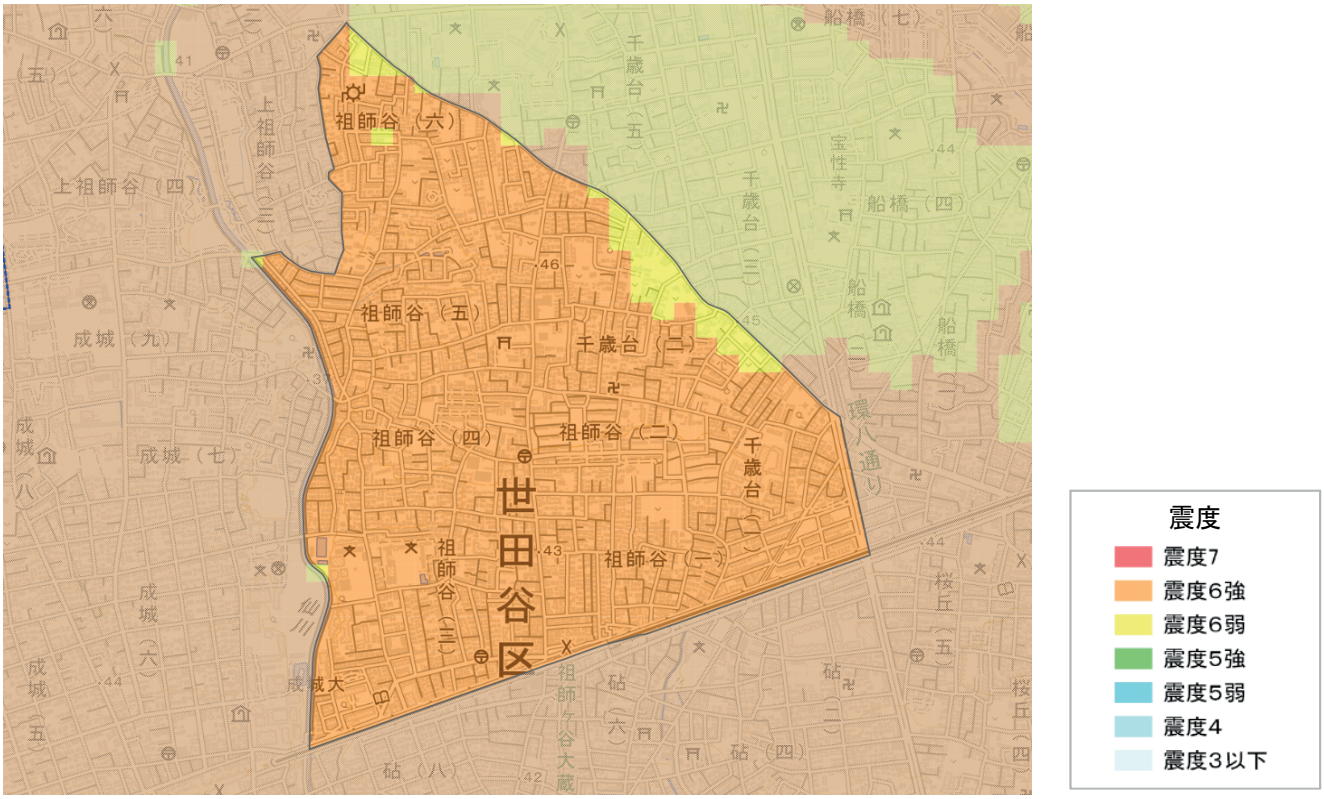
火災危険度



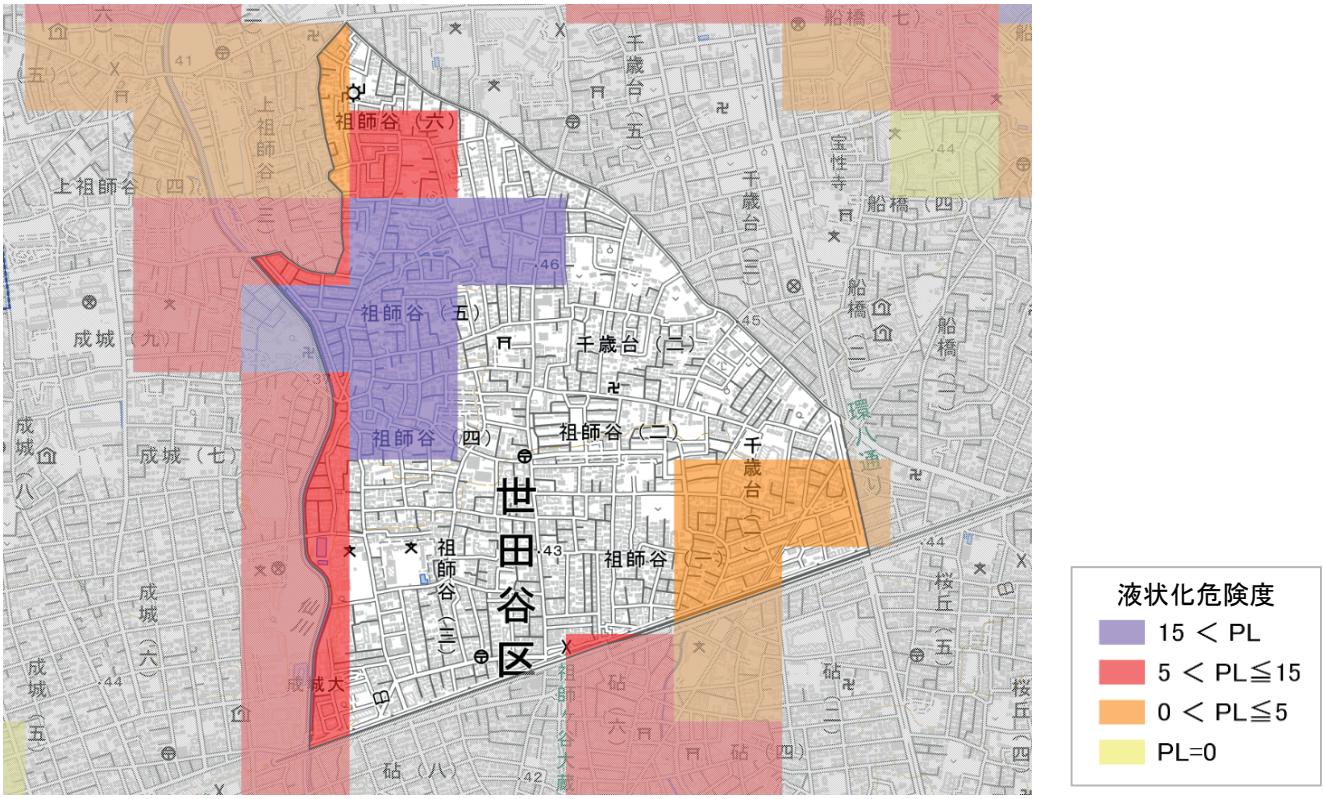
(4)被害想定

全壊棟数	174　棟	死者	27　人
半壊棟数	515　棟	負傷者	303　人
全焼棟数(倒壊建物含まず)	1,130　棟	うち重傷者	52　人

震度分布

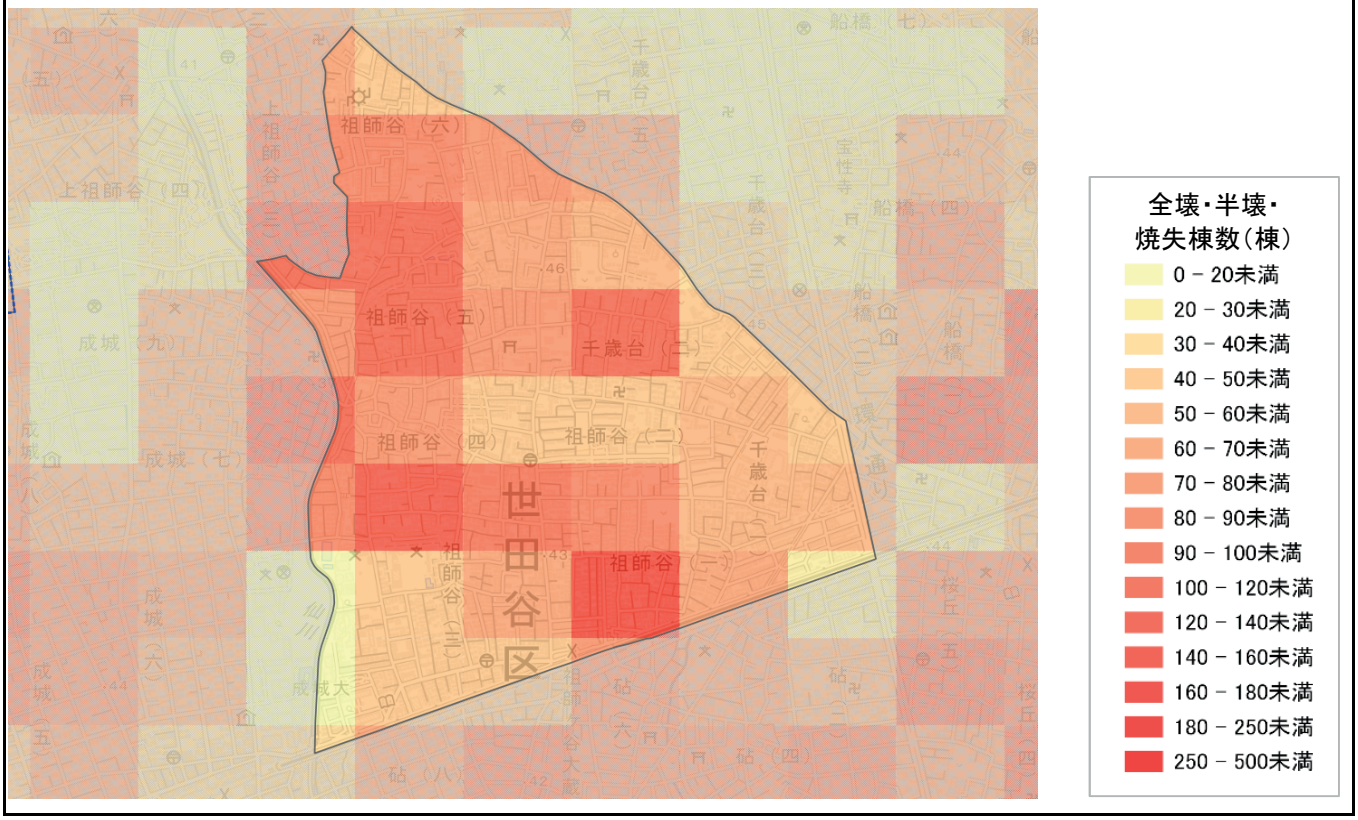


液状化分布



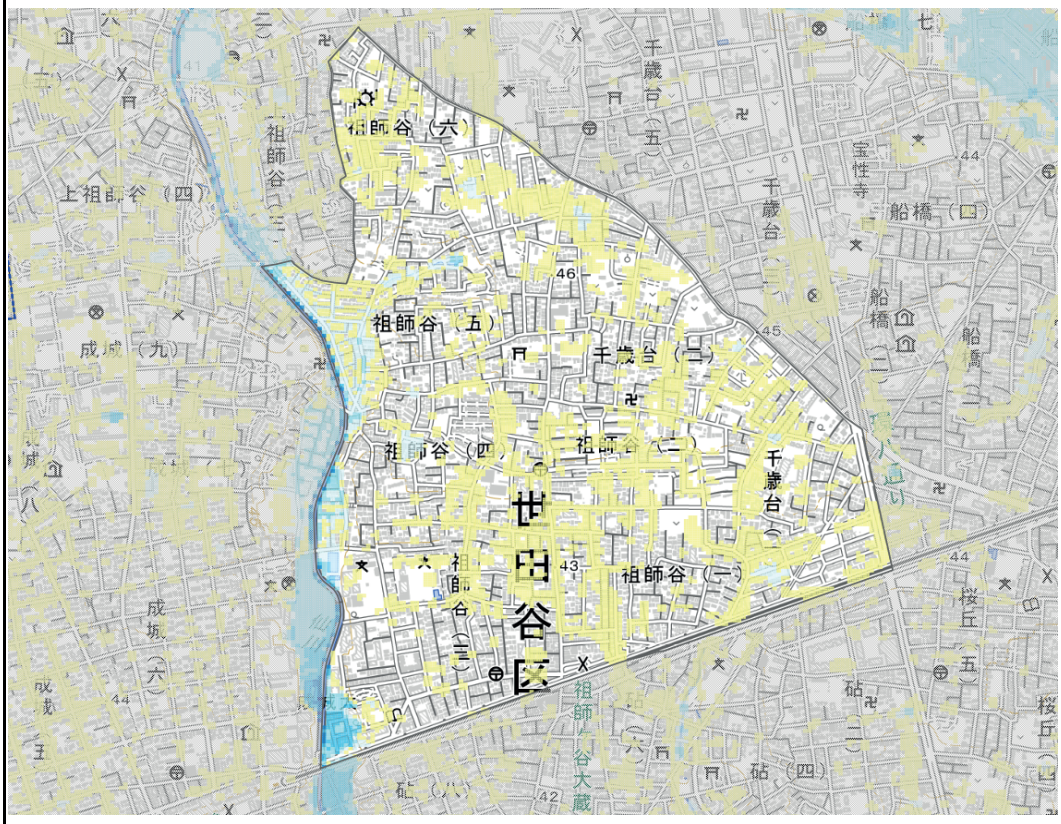
(4)被害想定

被害棟数分布

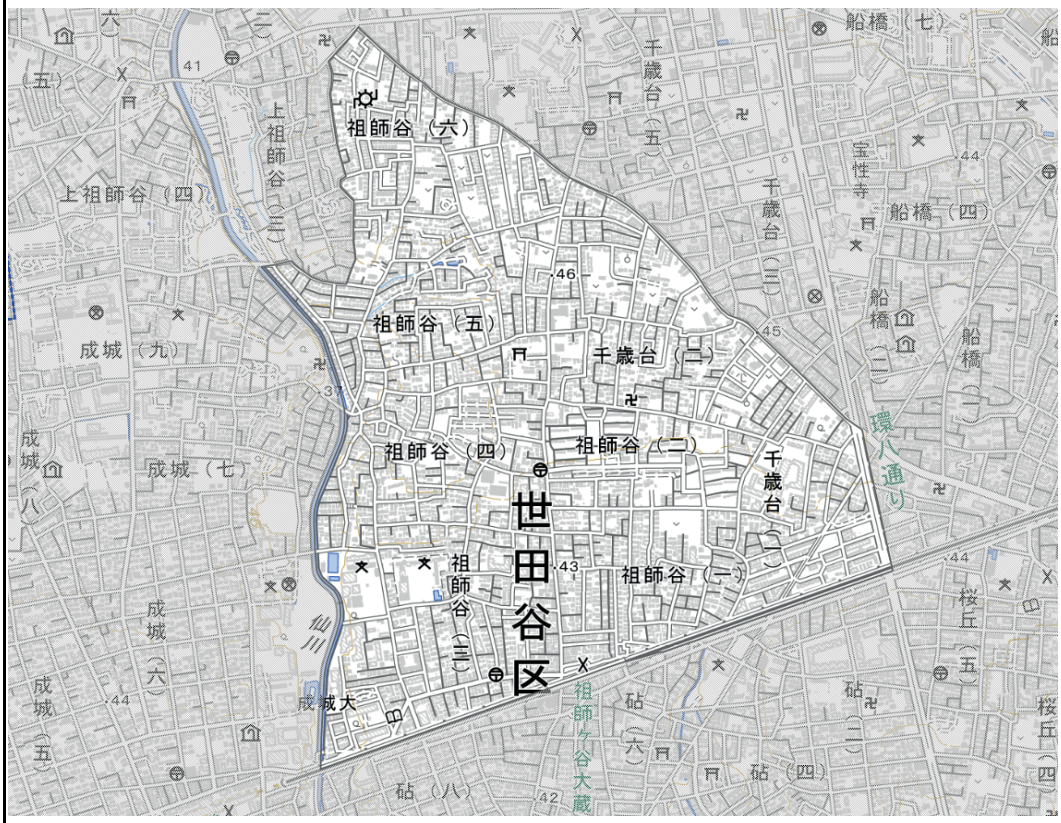


(4)被害想定

浸水想定(内水氾濫・中小河川洪水版)



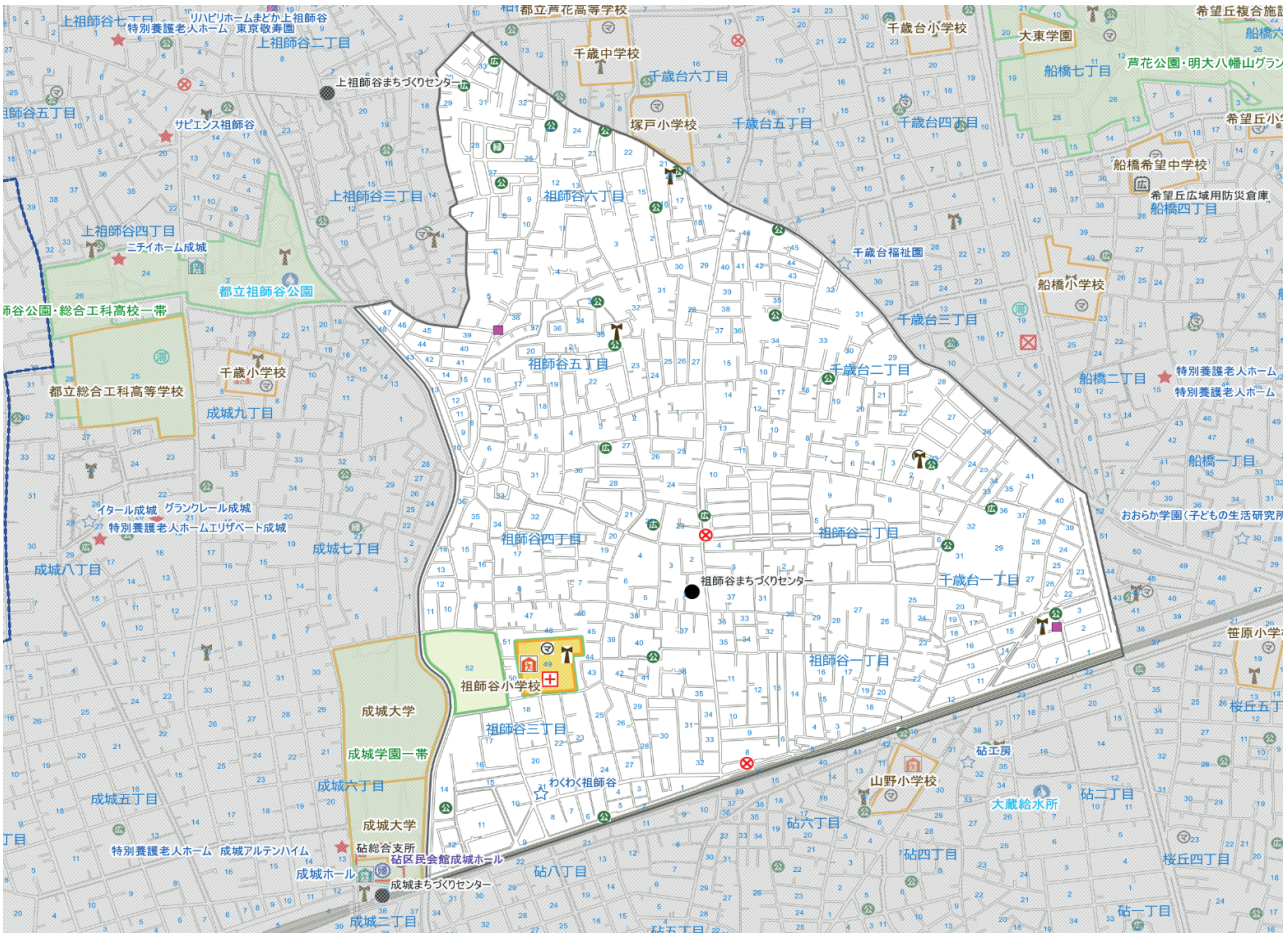
浸水想定(多摩川洪水版)



(5)防災資源一覧

広域避難場所	成城学園一帯				
一時集合所	廻沢南児童遊園　笠森公園　区立祖師谷六丁目広場　上祖師谷公園　祖師谷3丁目公園　祖師谷3丁目南みちばた公園　祖師谷公園　祖師谷小学校校庭　祖師谷神明社境内　中央広場集会所前　塚戸公園　塚戸小学校校庭　都営住宅集会所周辺				
指定避難所	祖師谷小学校 塚戸小学校 千歳中学校				
予備避難所					
福祉避難所(母子)					
福祉避難所(高齢者)					
福祉避難所(障害者)	わくわく祖師谷				
水害時避難所(第1次)	祖師谷小学校	野川・仙川洪水時避難所			
水害時避難所(第2次)					
土砂災害時避難所					
避難所救護所	祖師谷小学校				
東京都災害拠点病院					
東京都災害拠点連携病院					
緊急医療救護所					
一時滞在施設					
一時避難施設(車中避難)		帰宅困難者支援施設	0　ヶ所		
ボランティアマッチングセンター					
マンホールトイレ	4　ヶ所	防災行政無線塔	5　ヶ所	緑地	1　ヶ所
輸送拠点					
給水拠点					
広域用防災倉庫					
土のうステーション	笠森公園　祖師谷六丁目三叉路バス停横				
警察署・交番	祖師谷大蔵交番　祖師谷地域安全センター				
消防署・出張所					

(6)防災資源マップ



- 総合支所
- まちづくりセンター
- せたがや災害ボランティアセンター
- 広域用防災倉庫
- 給水拠点
- 防災行政無線塔
- マンホールトイレ
- 土のうステーション
- 警察署
- 交番
- 消防署
- 消防出張所
- 身近な広場
- 公園
- 緑地
- 広域避難場所
- 指定避難所
- 予備避難所
- 福祉避難所（母子）
- 福祉避難所（高齢者）
- 福祉避難所（障害者）
- 水害時避難所（第１次）
- 水害時避難所（第２次）
- 野川・仙川洪水時避難所
- 水害時避難所（狛江市）
- 水害時避難所（調布市）
- 土砂災害時避難所
- 避難所救護所
- 東京都災害拠点病院
- 東京都災害拠点連携病院
- 緊急医療救護所
- 一時滞在施設
- 帰宅困難者支援施設
- ボランティアマッチングセンター
- 輸送拠点等
- 一時避難施設（車中避難）

出典
世田谷区土砂災害ハザードマップ　令和6年7月発行
世田谷区の町丁目別人口と世帯数　令和6年3月1日
世田谷区の年齢別人口　令和6年3月1日
世田谷区洪水・内水氾濫ハザードマップ（多摩川洪水版、内水氾濫・中小河川洪水版）令和6年7月発行
世田谷の土地利用2021　世田谷区土地利用現況調査
世田谷区GISオープンデータ
令和2年国勢調査による 東京都の昼間人口（従業地・通学地による人口）第11表
地域危険度一覧表（地震に関する地域危険度測定調査[第9回]）　令和4年9月
首都直下地震等による東京の被害想定　報告書　令和4年5月25日
世田谷区防災マップデータ　令和6年3月

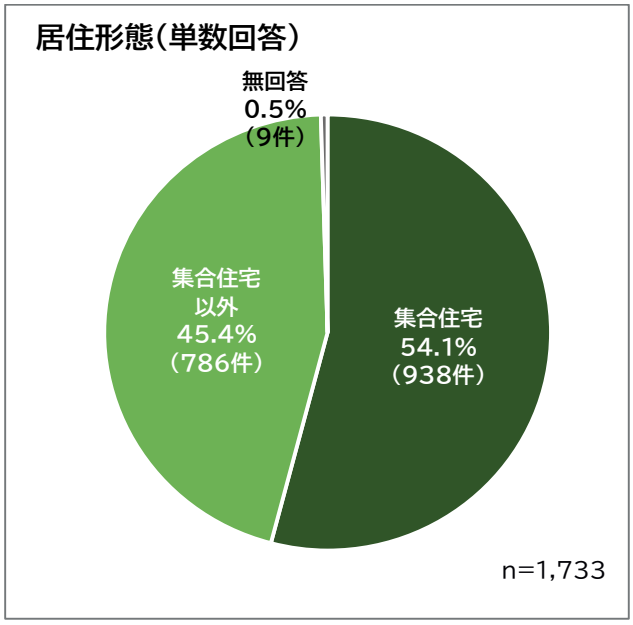
(7)区民アンケート(祖師谷地区)

このアンケートは、今後の区内各地域及び地区における災害関連施策の検討や取組みに活用することを目的として、令和6年度に災害対策課が実施した「在宅避難支援事業(防災カタログギフト)」に合わせて行ったものである。
なお、以下に記載している回答集計結果は、カタログギフト申込者のうち、WEBで申し込みをした区民へ任意での回答を依頼し、令和6年8月9日から9月8日までに回収できた分である。

単純集計(1/5)

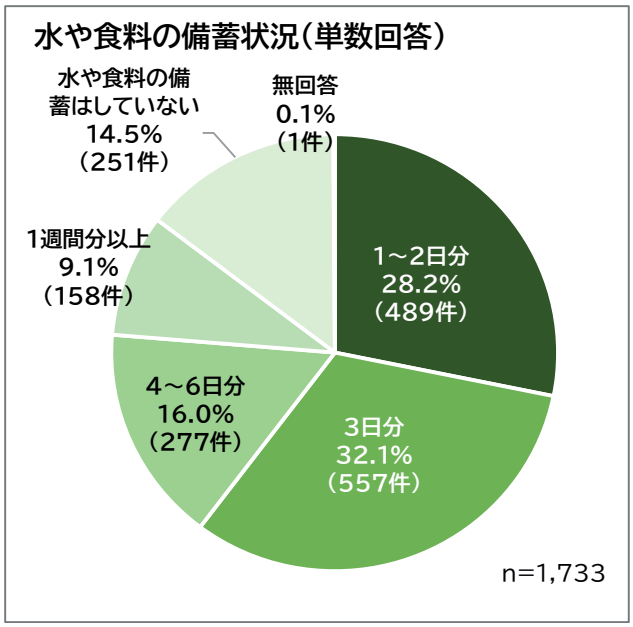
居住形態

【1】あなたはマンションなどの集合住宅にお住まいですか。



水や食料の備蓄状況

【2】あなたのご家庭では、災害に備えて水や食料は何日分備蓄していますか。

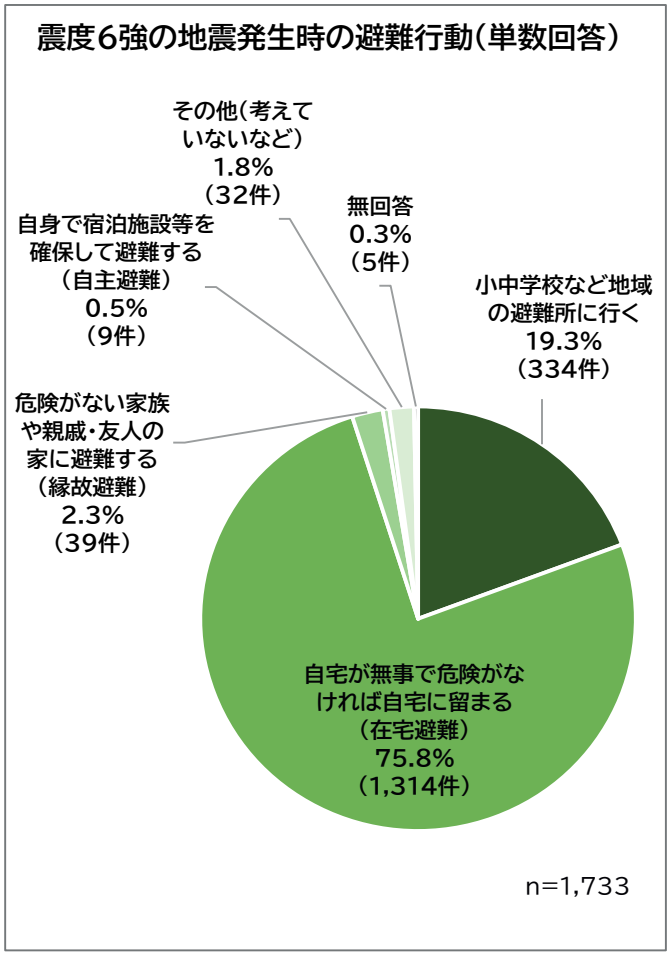


(7)区民アンケート(祖師谷地区)

単純集計(2/5)

震度6強の地震発生時の避難行動

【3】震度6強の大きな地震が発生した場合、どのような避難行動をとりますか。

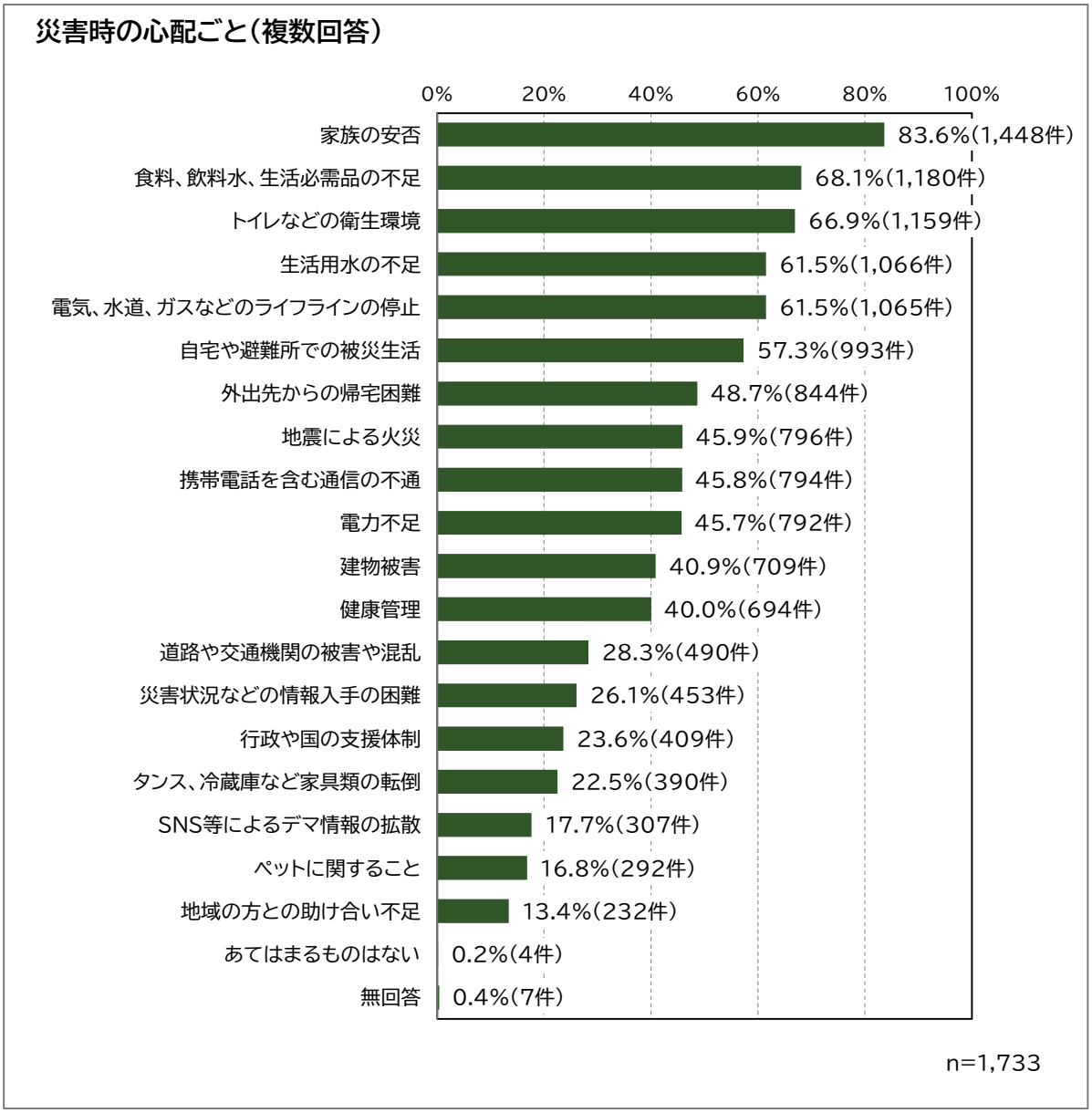


(7)区民アンケート(祖師谷地区)

単純集計(3/5)

災害時の心配ごと

【4】災害が起こった場合、どのようなことが心配ですか。

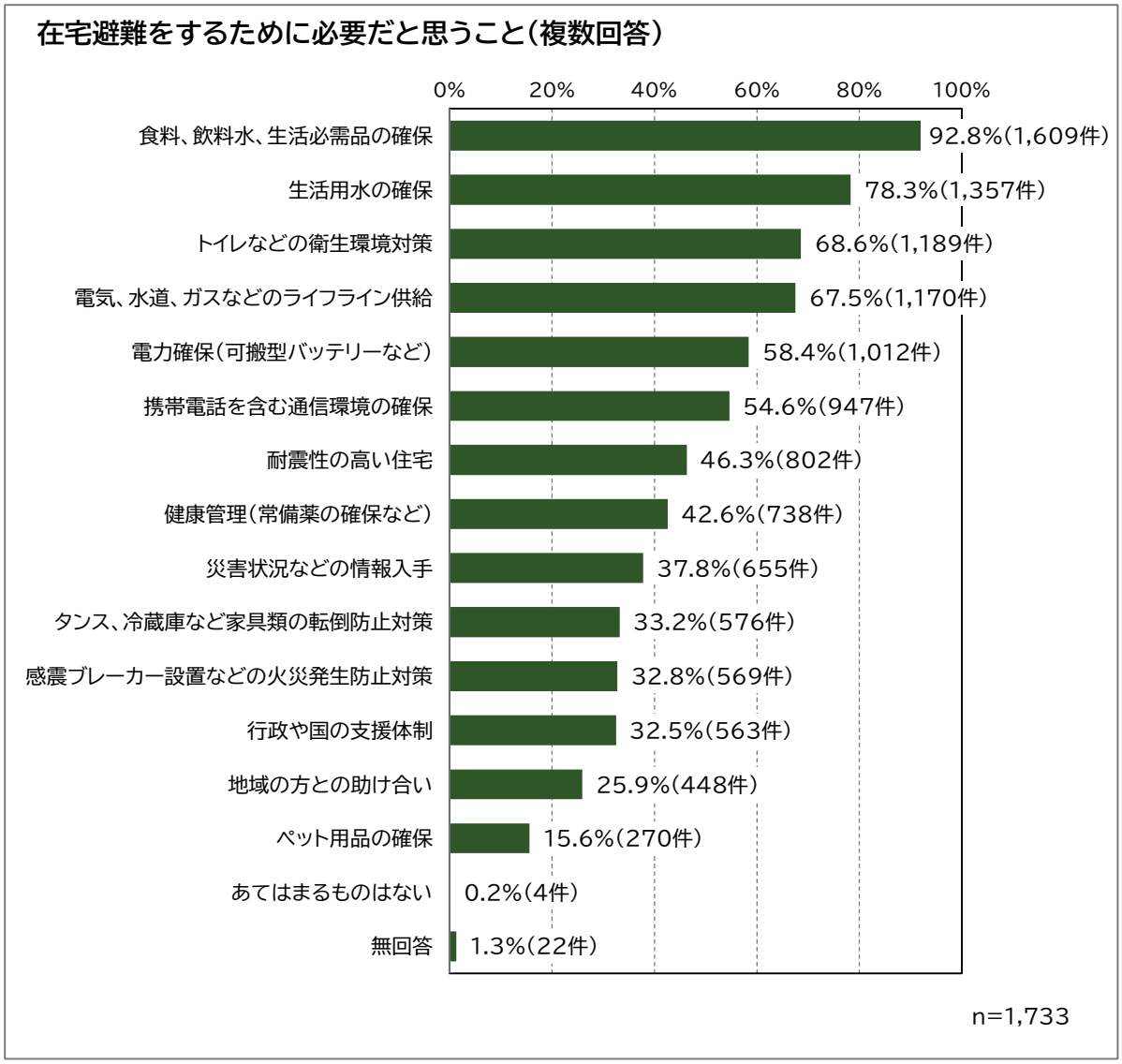


(7)区民アンケート(祖師谷地区)

単純集計(4/5)

在宅避難をするために必要だと思うこと

【5】区では、震災時に自宅が安全であれば、そのまま自宅で避難生活を送る「在宅避難」を推奨しています。在宅避難をするためには、どのようなことが必要だと思いますか。

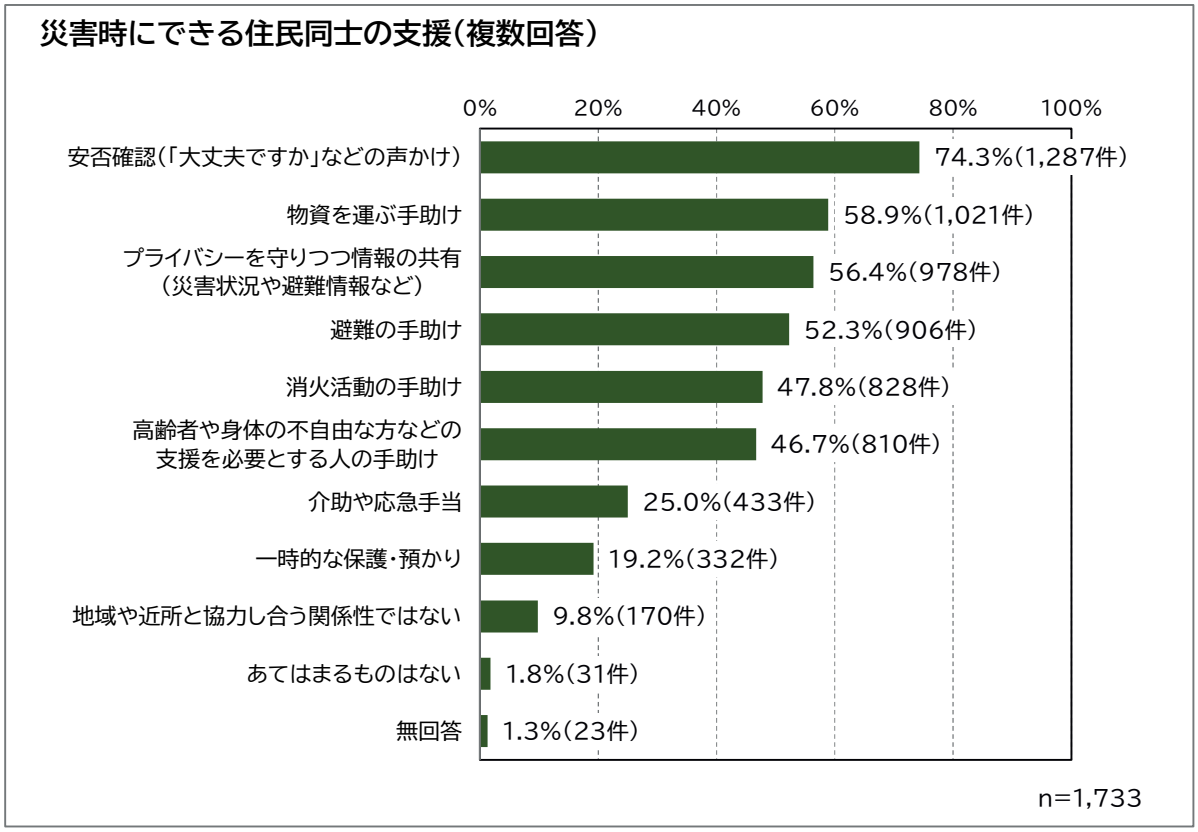


(7)区民アンケート(祖師谷地区)

単純集計(5/5)

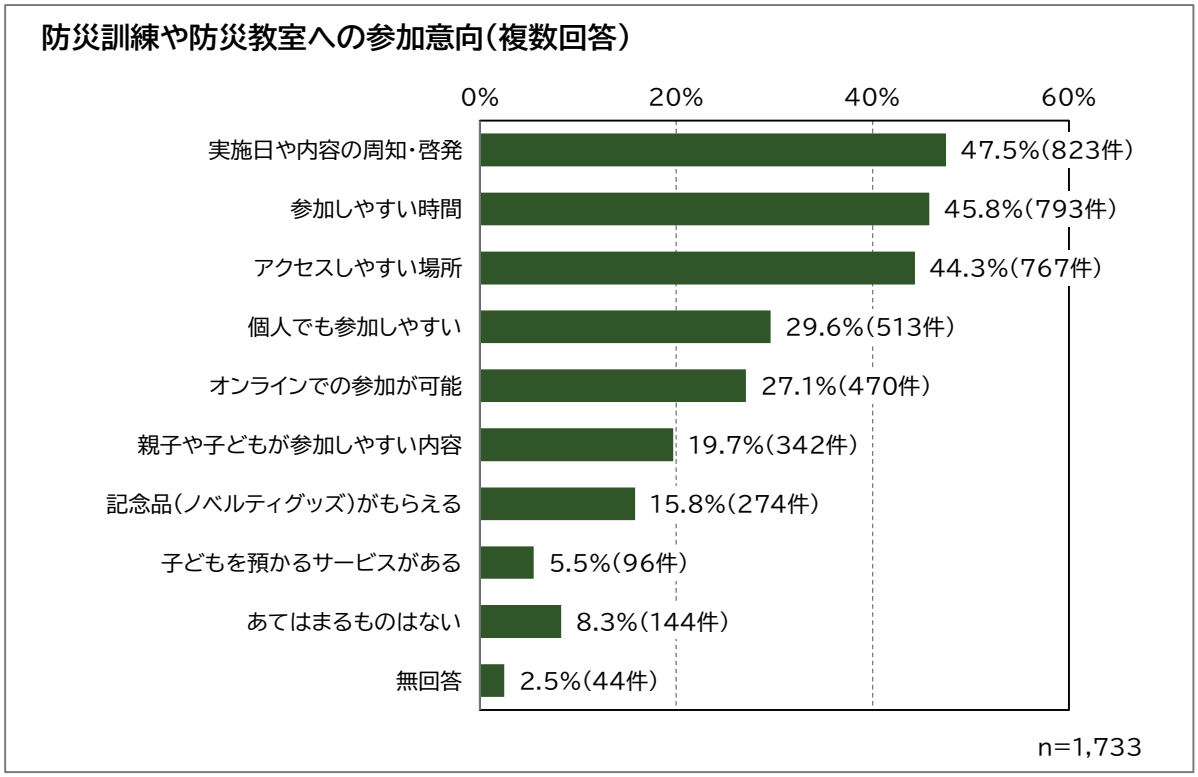
災害時にできる住民同士の支援

【6】災害時に地域や近所の住民同士でどのような支援(手助け)ができると思いますか。



防災訓練や防災教室への参加意向

【7】どのようなことがあれば、世田谷区が実施している防災訓練や防災教室に参加しようと思いますか。

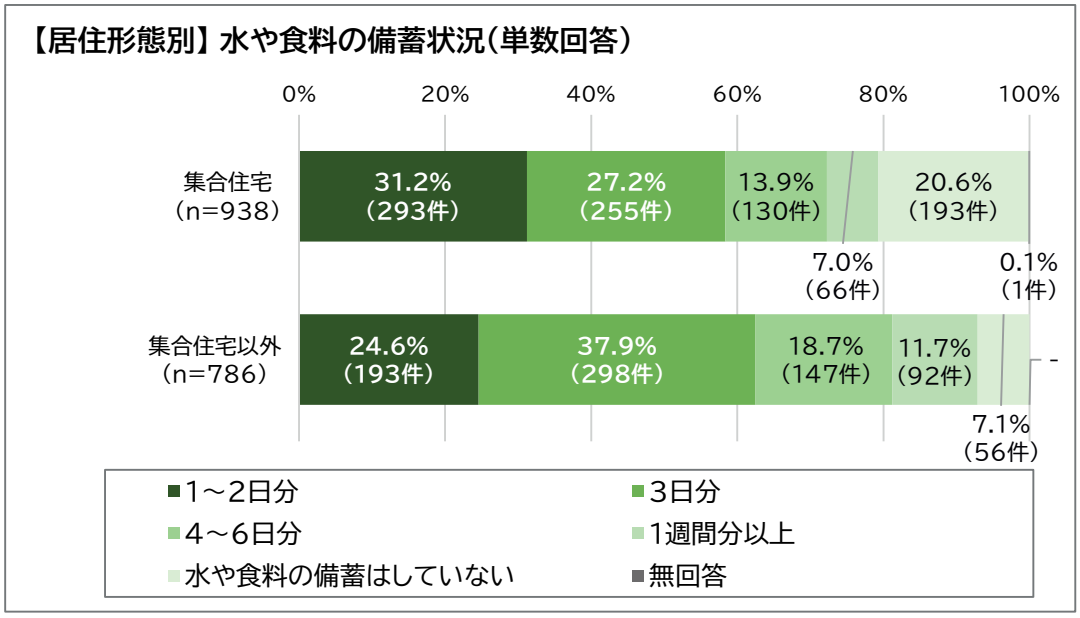


(7)区民アンケート(祖師谷地区)

クロス集計(1/4)

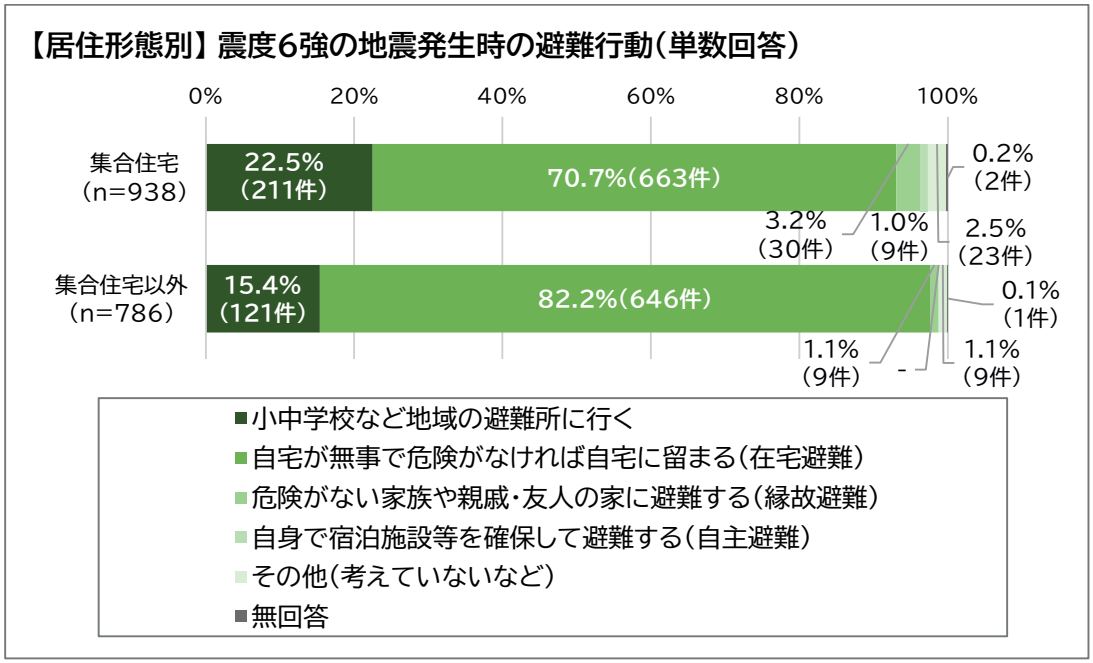
水や食料の備蓄状況

【2】あなたのご家庭では、災害に備えて水や食料は何日分備蓄していますか。



震度6強の地震発生時の避難行動

【3】震度6強の大きな地震が発生した場合、どのような避難行動をとりますか。



(7)区民アンケート(祖師谷地区)

クロス集計(2/4)

災害時の心配ごと

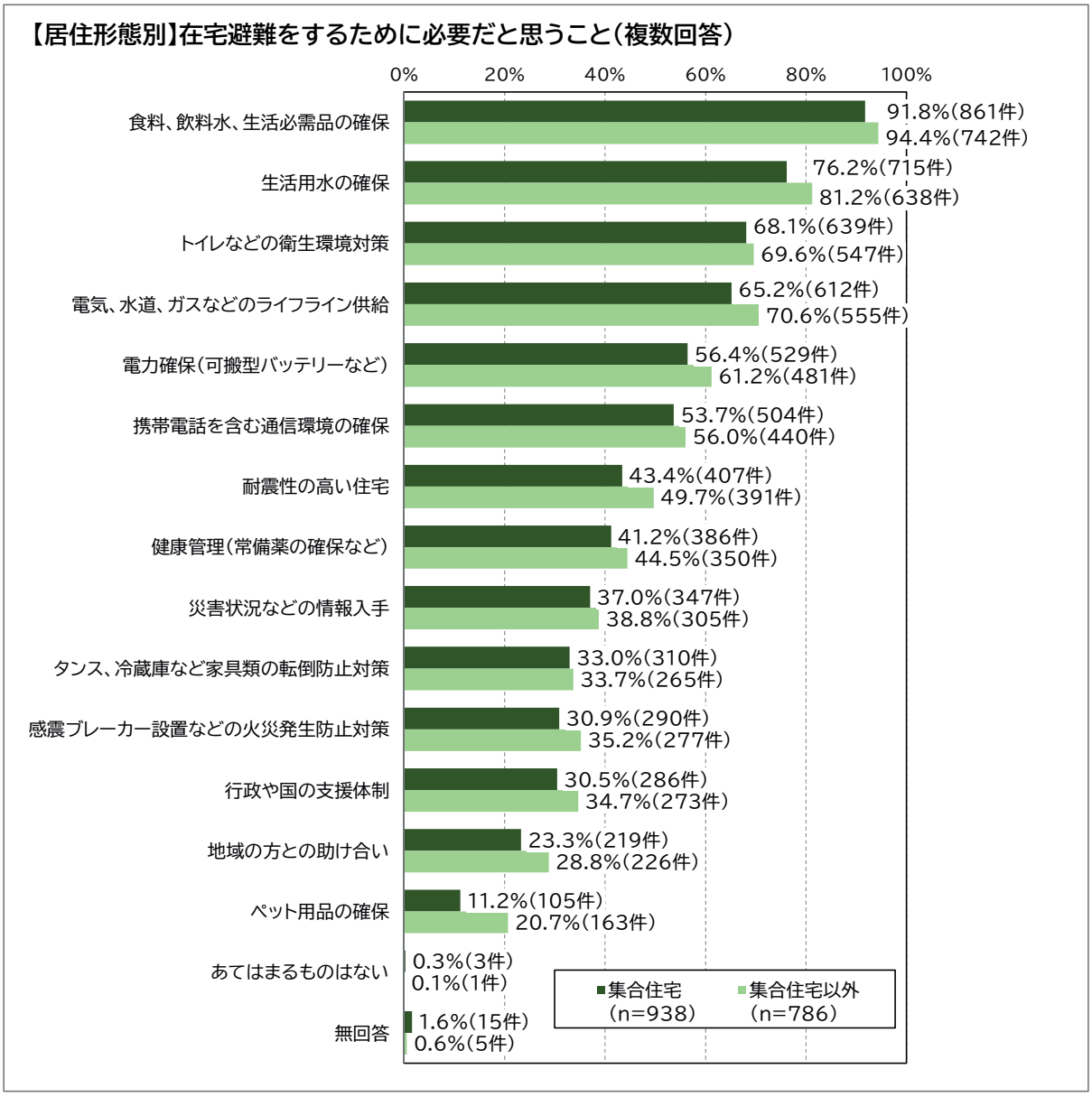
【4】災害が起こった場合、どのようなことが心配ですか。

(7)区民アンケート(祖師谷地区)

クロス集計(3/4)

在宅避難をするために必要だと思うこと

【5】区では、震災時に自宅が安全であれば、そのまま自宅で避難生活を送る「在宅避難」を推奨しています。在宅避難をするためには、どのようなことが必要だと思いますか。

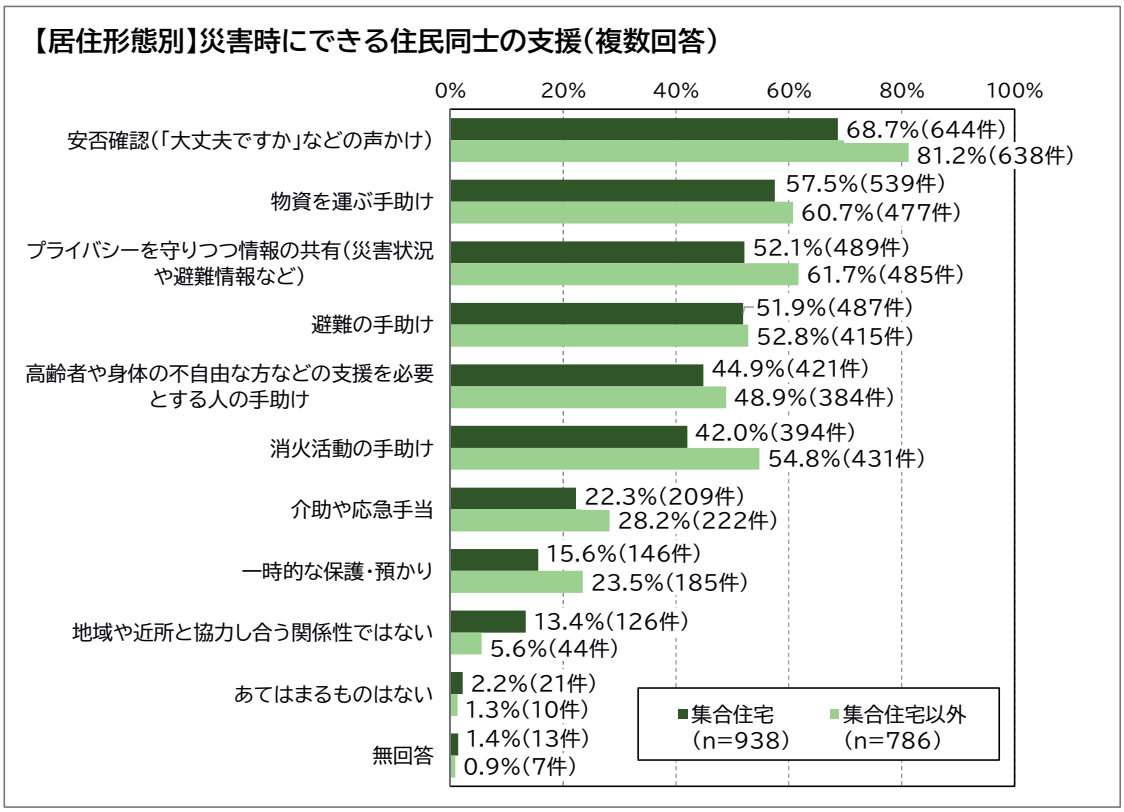


(7)区民アンケート(祖師谷地区)

クロス集計(4/4)

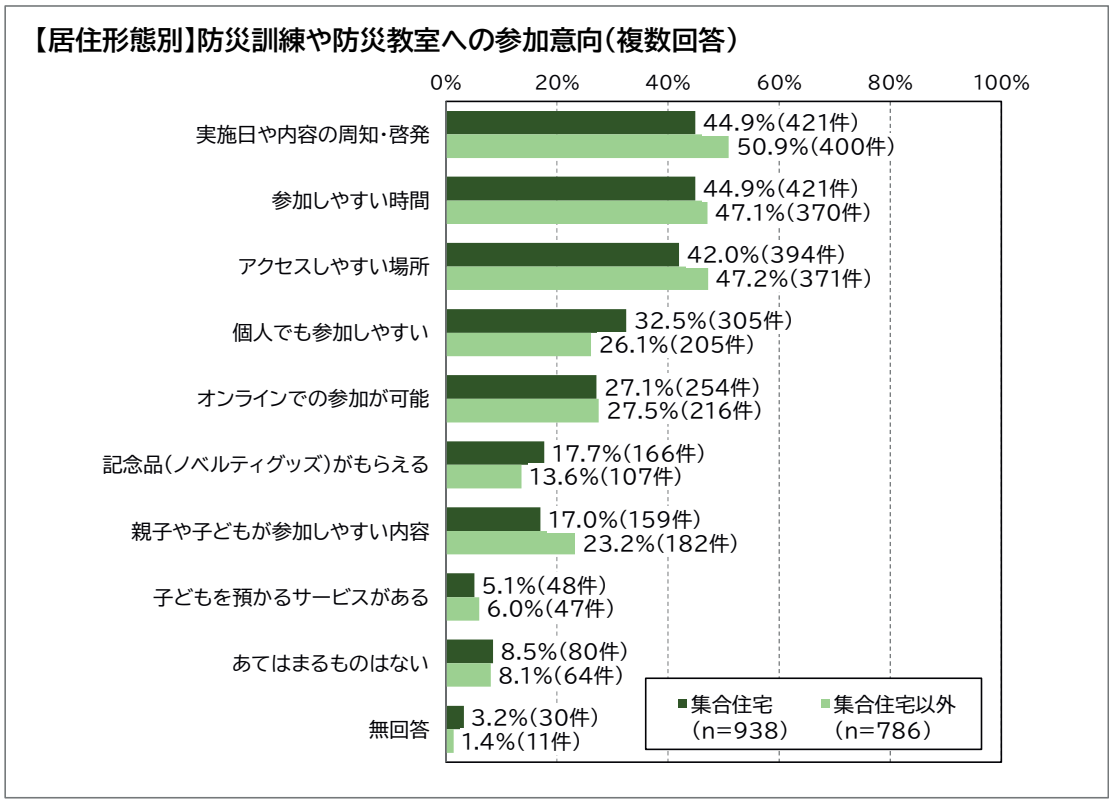
災害時にできる住民同士の支援

【6】災害時に地域や近所の住民同士でどのような支援(手助け)ができると思いますか。



防災訓練や防災教室への参加意向

【7】どのようなことがあれば、世田谷区が実施している防災訓練や防災教室に参加しようと思いますか。



2 各団体の防災活動～現在の取組状況～

団体名	防災担当者数	防災に関する会議				防災活動、資機材配備等の実施		消火資機材の配備									
										スタンドパイプ		D型ポンプ		消火器		その他	
		実施している	実施していない	会議名	（実施回数／年間）	実施している	実施していない	配備している	配備していない	数量	場所	数量	場所	数量	場所	名称	場所
祖師谷第二自治会	8	○		第二自治会防災会議	1	○		○		2	祖師谷地区会館、会員宅	1	幸野メディカルクリニック内防災倉庫	11	役員宅		祖師谷地区会館内備蓄倉庫
祖師谷第三自治会	18	○		自治会防災対策部会議	6 必要に応じて	○		○		5	会員宅	0	山野公園内自治会防災倉庫			防火防災服6セット	山野公園内自治会防災倉庫
祖師谷第四自治会	8	○		祖師谷第四自治会役員会 祖師谷第四自治会防災部会	6 2	○		○		5	廻沢南公園内防災倉庫、会員宅、倉庫	1	廻沢南公園内自治会防災倉庫			防火衣2セット	廻沢南公園内自治会防災倉庫
祖師谷第五自治会	6	○		第五自治会拡大理事会 第五自治会防災	6 3	○		○		1	神明社内自治会防災倉庫	1	神明社内自治会防災倉庫				
祖師谷第六自治会	6	○		祖師谷第六自治会役員会 祖師谷第六自治会班長会議	6 4	○		○		9	担当地域内に分散配置	3	2基第六防災倉庫(祖師谷5-22-11基公社祖師谷住宅内防災倉庫			防火防災服6セット	自治会防災倉庫
祖師谷住宅自治会	8	○		自治会防災訓練	1	○		○		1	集会所			46	各棟階段2ヶ所		
祖師谷千歳台自治会		○		防災担当者会議	6	○		○		3	塚戸公園内防災倉庫 つりがね池公園	1	塚戸公園内自治会防災倉庫				
祖師谷3丁目南町会	3	○		祖師谷3丁目南町会防災担当者会議	6	○		○		1	町会防災倉庫			58	各会員宅	スプレー型消火用具	各会員宅
藤自治会	5	○		藤自治会防災担当者会議	2	○		○		1	自治会防災資材倉庫	1	自治会防災資材倉庫				
千歳台南会	10	○		千歳台南会防災本部	3	○		○		2	町会内マンション玄関脇	1	町会防災倉庫	1 (水道消火器)	町会内マンション玄関脇		
千歳台睦町会	6	○		役員会(役員会諸問題の一つとして実施。)	12	○		○		1	町会防災倉庫	1	町会防災倉庫				
祖師谷商店街振興組合	12		○			○		○		1	祖師谷大蔵交番裏歩道上			2	商店街振興組合事務所		
シャルム成城管理組合防災部														46	各戸		

団体名	防災訓練等の実施								防災マップ												
			防災訓練		救命救急講習会		その他						掲載情報								
	実施している	実施していない	回数	実施場所	回数	実施場所	訓練名称	実施場所	作成済	作成中	作成検討中	作成予定なし	一時集合所	広域避難場所	避難所	街路消火器	防火水槽	震災用井戸	消火栓	その他
祖師谷第二自治会	○		1	幸野メディカルクリニック敷地内	1	祖師谷地区会館			○							○	○	○	○	
祖師谷第三自治会	○			自治会内路上					○				○	○	○	○	○		○	防災倉庫、スタンドパイプ設置場所、その他必要なこと
祖師谷第四自治会	○		2	廻沢南公園、町内を順次					○				○	○	○	○	○	○	○	
祖師谷第五自治会	○		1	公社祖師谷住宅集会所前広場（公社祖師谷住宅自治会、祖師谷商店街昇進会振興組合等と合同で実施）	1	公社祖師谷住宅集会所			○				○	○	○	○	○		○	
祖師谷第六自治会	○		3	成城消防署千歳出張所、公園等					○										○	スタンドパイプ設置場所、D級ポンプ設置場所
祖師谷住宅自治会	○		1	敷地内広場	1	敷地内集会所						○								
祖師谷千歳台自治会	○		1	上祖師谷パンダ公園	1	上祖師谷パンダ公園			○				○	○	○	○	○	○	○	
祖師谷3丁目南町会	○		1	ふれあいセンター						○						○	○		○	
藤自治会	○		2	自治会内路上、祖師谷公園親水テラス							○									
千歳台南会	○		1	笠森公園（千歳台睦町会と合同で実施）					○				○		○				○	
千歳台睦町会	○		1	笠森公園（千歳台南会と合同で実施）							○									
祖師谷商店街振興組合		○										○								
シャルム成城管理組合防災部		○										○								

団体名	防災士等の数				災害時連携・協定（区を除く）					避難行動要支援者協定			避難行動要支援者対策				連絡手段の確保			防災活動に関するマニュアル（避難所運営マニュアルを除く）				
	防災士	把握していない	地域防災リーダー	把握していない	他団体との連携	協定締結	特になし	連携先・内容	協定先・内容	締結している	検討中である	予定はない	日頃からの見守り活動	要支援者避難行動体験	その他	特に実施していない	簡易無線	連絡網の作成・整備	その他	策定済み	策定中	検討中	予定なし	名称
祖師谷第二自治会	0		1				○			○			○				○	○				○		
祖師谷第三自治会		○	3				○					○	○		班ごとに把握		3		無線の活用	○				災害時行動マニュアル
祖師谷第四自治会	0						○						○		・ブロックごとに把握 ・ブロックごとの地図作成中		○	○				○		
祖師谷第五自治会	0		1				○			○			○				4		無線の活用（検討中）			○		
祖師谷第六自治会	0		0				○					○				○	○	○				○		
祖師谷住宅自治会	1		0				○			○			○				○						○	
祖師谷千歳台自治会	1		2				○			○			○				○					○		
祖師谷3丁目南町会	1						○			○			○				○		各班長を通じ緊急連絡をすることになっている。			○		
藤自治会				○			○			○			○				○	○				○		
千歳台南会	2		4				○			○			○				○	○				○		
千歳台睦町会							○			○			○				○	○					○	
祖師谷商店街振興組合		○		○			○				○				夜警（月1回）							○		
シャルム成城管理組合防災部		○		○			○				○					○							○	

団体名	救出救助に係る資機材の配備																		食糧等の備蓄									
	配備していない	配備している	リアカー	はしご	脚立	担架	救急セット	ヘルメット	救助工具セット	バール	スコップ	手おの	のこぎり	ジャッキ	両口ハンマー	ツルハシ	その他	保管場所	備蓄していない	備蓄している	アルファ米	ビスケット・乾パン	おかゆ	飲料水	缶詰類	レトルト食品類	カセットコンロ	災害用その他食料
祖師谷第二自治会		○	1	1	1	1	2	18	1	1	1			1	1		カッター1	祖師谷地区会館内備蓄倉庫		○		458		240		120	1	80
祖師谷第三自治会		○	2					15	1	1	1	1	1	1	1	1		会員宅格納庫	○								○	
祖師谷第四自治会		○	1			1	1	15	1	1	1	1	1	1	1		エンジンチェーンソー1	廻沢南公園内自治会防災倉庫		○								
祖師谷第五自治会		○	2			1	1	4							1			神明社内自治会防災倉庫		○		576			40			256
祖師谷第六自治会		○	2			1		20	1				1				エンジンチェーンソー1	自治会防災倉庫(祖師谷5-22)		○								
祖師谷住宅自治会		○		1	3	1	1	20		1	1	1	1			1		防災倉庫		○	50		100	60	288			
祖師谷千歳台自治会		○	1		1	4	1	14	1	3	9	2	1	1	1			塚戸公園内自治会防災倉庫		○	○	○	○	○	○	○	2	
祖師谷3丁目南町会		○	1				3	5	1								防水シート	町会防災倉庫		○		○		○			○	
藤自治会		○	2	○	○	○	○	7		1					1			自治会防災倉庫	○									
千歳台南会		○	1						1											○								
千歳台睦町会		○	2	1		2	2	10	○								発電機2、スポットライト	町会防災倉庫		○		○		○		○	○	
祖師谷商店街振興組合		○			○		○	○										商店街振興組合事務所		○								
シャルム成城管理組合防災部		○			○		○	○			○			○	○		物置:ロープ一巻、たーピーシート3.6×4.5、ボルトクリッパー600mm、ナタ、2本だて非難ロープ、非常用メガホン、コードリール、パイプシュベル。管理室:ソーラーLEDライト、ヘルメット1個、救急用具箱、サバイバルブランケット31個、飲料水13箱(2L×6本)、保存水(500ml×6本)	物置・管理室										

団体名	食糧等の備蓄								その他の防災活動
	非常用トイレ	照明	発電機	蓄電池セット	給水タンク	その他	保管場所	備蓄品配布先	
祖師谷第二自治会	90	10				簡易トイレ5セット、20リットルポリタンク5個、携帯トイレ100個以上	祖師谷地区会館内備蓄倉庫	祖師谷第二自治会住民	
祖師谷第三自治会	3	1				テント、毛布、寝袋、LEDライト、バケツ、炊き出し用具、食器類、蓄電池、ソーラーパネル	山野公園内自治会防災倉庫		・災害時の初動対応体制づくりや、情報収集の方法を検討中、安否確認の取り組みを令和4年度より実施 ・自治会だよりや防災訓練時に会員の防災意識の向上を図り、備え・注意点等を啓発・喚起する。 ・自治会内に区広報板がない。防災の観点からも必要と考え、自治会の掲示板を5か所に設置
祖師谷第四自治会	100	1	1	1		災害本部テント3	廻沢南公園内自治会防災倉庫		・近助を目的とした日頃のコミュニケーション体制づくりを検討
祖師谷第五自治会	2					男女大人用おむつ300 男女子ども用おむつ304 45リットルポリバケツ1	祖師谷4丁目防災倉庫、神明社内自治会防災倉庫		火災予防、初期消火を重視。(家庭用消火器の購入を指示している。)
祖師谷第六自治会	○	○					自治会防災倉庫(祖師谷5丁目公園)		「安否確認カード」掲載訓練
祖師谷住宅自治会		1	4				防災倉庫	祖師谷住宅全戸住民に水、缶詰類、非常持出リュック一式	
祖師谷千歳台自治会	100	○	1			簡易テント1	塚戸公園内自治会防災倉庫	祖師谷千歳台自治会管轄住民	
祖師谷3丁目南町会	○	○				毛布、サバイバルブランケット12、スリーピングバック5、ポリバケツ15	町会防災倉庫		
藤自治会	9	2	0	1	0	携帯トイレ800			
千歳台南会		3				ラジオ1、警告灯4、ハンドマイク4	町会防災倉庫	会員に毎年防災グッズ一品を配布	・毎年防災アンケートを実施。町会員の防災意識や備えの現状把握に努める。 ・安否確認と震災情報周知に注力。子ども引取り、防災アプリ使用普及に努める。 防災訓練に震災臨時掲示板の活用を進める。
千歳台睦町会		3	2						
祖師谷商店街振興組合	5	4				簡易ベッド1	商店街振興組合事務所		他団体の防災訓練へ参加 地元消防団との交流
シャルム成城管理組合防災部									

3　祖師谷地区の課題と取り組み

- 小田急線北側に位置し、面積は 1.67 ㎢、△おにぎり形の地区。地区は祖師ヶ谷大蔵駅を起点に、南北に走る祖師谷通りを挟む賑やかな商店街、背後には多くの木造戸建て住宅が並ぶ住宅地域である。
- 地区内は 11 の小・中規模（会員世帯約 100～700 世帯）の町会・自治会が、地区町会自治会会連合会の下で、地域全体の活動に加えてそれぞれ地域の特性を活かし独自に運営している。
- 地区町会自治会連合会では、令和 4 年度に広域火災発生時の緊急通報を目的として簡易無線機を整備しており、災害時での迅速な情報伝達、情報収集の手段としている。
- 地区では、首都直下地震の際には区内で最大の延焼被害が想定されている。初期消火の重要性に鑑み、多数のスタンドパイプの設置に努め、ほとんどの町会自治会の防災訓練において、スタンドパイプの操作訓練を行っている
- 地区内3町会自治会では、災害時の安否確認の方法として、安否確認カードを作成し、その掲出訓練を年間 2～3 回実施している。今後は、地区全体で実施できるよう検討していく。
- 東京都が一昨年公表した首都直下地震の際の被害想定では、想定地震を前回（平成 24 年）の「東京湾北部地震」から今回の「都心南部直下地震」としたため、祖師谷地区の想定震度が 6 弱から 6 強になったと思われる。また、平成 29 年作成の地区防災計画と比較して、幅 4 メートル以下の細街路率が 10%減少したことや、旧基準の建物の建て替えで不燃化が進んだこと等により、延焼拡大による全焼棟数は 1130 棟と大幅に改善されたが、区内他地区と比較すると依然として高い数値であるため、今後も地区全体で連携して取り組んでいく必要がある。さらに、地区の仙川沿い及び北部地域で液状化危険地域が拡大し、今後の重要な課題となった。

課題1　初期消火・延焼防止

■意見（課題）

・祖師谷地区は、被害想定で全焼棟数が区内で最も多いとされている地区であるため、初期消火、延焼防止は重要な課題である。

・祖師谷地区は、商店街を中心にその周辺に住宅が密集している。

・消防車が入れない道路が多い。特に狭い道路に囲まれた所では、道路損壊があると人の立ち入り自体が困難になる。

・商店街では、商品の崩れ、看板の落下、電柱の倒壊、路上に駐輪している自転車の転倒などで道路を塞いでしまう。

・消火器（街路消火器含む）の設置場所を知らない。

・消火栓や防火水槽の位置及び町会・自治会の防災倉庫の設置場所がわからない。

・消火器の使用方法を知らない。

・消火器を設置している家庭が以外と少ない。

・町会・自治会にはスタンドパイプ・D型ポンプを所有しているところが多いが、使用できる人が限られている。

・平日昼間は、消火活動ができる人手が少ない。

・町会・自治会ごとに設備の差がある。

・防災訓練の参加者が少なく、新規の参加者はほとんどいない。

■地区としての今後の取り組みの方向性

①防災マップを作成し、地区の防災資源の所在地を多く知ってもらう。

②緊急車両が通行しやすくなるよう、自転車の路上駐輪をなくすための呼び掛けを行う。

③自宅から火を出さないために日頃からの備えをしておく。消火器の設置及び感震ブレーカー等の普及啓発。（特に家庭用消火器）

④防災訓練で消火器・スタンドパイプ・D型ポンプの操作訓練を反復して行う。また他の町会自治会の訓練に参加したり、訓練場所を変えたりするなど様々な

状況に対応できるように備えておく。

⑤多くの人が訓練に参加してもらえるよう周知・啓発方法を検討していく。

⑥町会・自治会の防災倉庫だけではなく、より多くの場所にスタンドパイプを配備する。（駅や交番等）区道にも設置できるよう区へ継続して要望していく。

⑦商店街や介護事業所、学生等、平日に地域に居る人材との連携、関係性を築いておく。

⑧防災区民組織の資機材助成や都の助成等を利用し、各町会・自治会の実状に合った方法で設備を充実させていく。

⑨地区の耐震化率を上げるため、区で実施している「木造住宅の耐震化支援事業」等について、区と町会・自治会で連携して周知を図っていく。

■各団体の今後の取り組みの方向性

・震災時の火災に対する注意喚起と地区内の消火栓・消火器等設置場所を周知するため、防災チラシと防災マップを両面にして作成し、会員全世帯に配付した。今後は防災マップの見直しを行っていく。（祖師谷第 2 自治会）

・路上消火器・消火栓・スタンドパイプ等の位置を落とし込み、会員に周知する必要があることを掲載した防災マップや災害時行動マニュアルの保存版を作成、配付済み。（祖師谷第 3 自治会）

・会員の意識と実践力の向上を図るため、初期消火力・延焼防止力を強化する訓練や専門家による講習会を実施する。毎年の防災訓練の実施により更なる強化をめざす。（祖師谷第 3 自治会）

・災害時に備えて防災倉庫に、防護服及びチェーンソーの作業防護ズボン、防護手袋を備えている。（祖師谷第 4 自治会）

・「自宅から火を出さない」を第一目標とし、消火器の各戸設置及び感震ブレーカーの普及啓発を行うと同時に、初期消火の訓練を徹底する。状況にあわせた家庭用消火器の使用方法について、適切な動画映像での周知を行っていく。（祖師谷第 5 自治会）

・火災を少しでも抑えるべく消火器の普及、消火器の操作訓練を繰り返し実施していく。（祖師谷第 6 自治会）

・通電火災を防ぐ感震ブレーカー設置の奨励等を明記した地震発生直後の行動マニュアルを作成し、全会員に保存版として配付する。（祖師谷第 6 自治会）
・出火防止、初期消火を確実に実施しないと、地震時発生した火災が延焼火災となれば、消火困難となってしまうことを、自治会の防災訓練やイベント等の機会に広く周知徹底していく。（祖師谷千歳台自治会）
・災害時スタンドパイプ、D型ポンプを活用できるよう毎年継続して訓練を行っていく。（千歳台睦町会）
・ボヤの段階で消火するため、火災発生を近所に素早く知らせ、近所の家庭消火器を持ち寄る訓練を「地域防災の集い」で計画し、併せて消火器の点検の機会とする。（千歳台南会）
・地域消火器（スタンドパイプ・D型ポンプ等）の使用訓練を「街角消火訓練」や「地域防災の集い」において実施し、チーム消火方式の導入等による使用経験者の拡大と練度向上を図る。（千歳台南会）
・「火は小さいうちに消す」このことが大事であるため、スプレー消火器具・家庭用消火器を会員全戸に配布している。（祖師谷 3 丁目南町会）

課題2　安否確認（要援護者含む）と情報収集

■意見（課題）

・近隣との平時の付き合いが少なくよく知らない。
・町会・自治会の加入者が少ない。
・安否確認（家族・近隣）のルールが決まっていない。
・祖師谷地区は、高齢化率が高い地区であり要援護者は多いが支援者が少ない。
・情報を集約する機能がない。

■地区としての今後の取り組みの方向性

①地域のイベントへの参加などを通じて町会未加入者への呼びかけを強化する。
②子ども達の登下校の見守りや安全ボランティアを通して顔見知りになる。
③発災時、役員に代わり安否確認・情報収集できるような仕組みづくりを各町会自治会で構築していく。（隣組、小規模単位等）

④マンションの管理組合やアパートの管理者との協力体制を築くとともに居住者自身の「自助」の重要性を周知していく。

⑤日頃から家族の安否確認（災害用伝言ダイヤル171の普及）の方法や集合場所を決めておくよう訓練等で周知をしていく。

⑥町会自治会における班単位の人数を少なくし、安否確認・情報収集を円滑に行えるようにする。

⑦回覧板の組織を活用する。

⑧各戸に旗や表示物等を出すなど安否確認がしやすくなる手法を考える。

⑨災害時に連絡を取れる手段として、令和4年度に祖師谷地区町会自治会連合会で整備した簡易無線機を活用する。災害時に効果的に使用できるよう毎年、地区全体で訓練を継続していく。

⑩町会自治会単位で収集した情報はまちづくりセンター（拠点隊）で集約する。

⑪隣近所・班単位（町会・自治会）での情報収集⇒町会自治会長⇒集約機能拠点という流れを形成する。

⑫集約した情報や行政からの情報などを共有化できる手段を検討する。

⑬地区内3町会自治会で行っている安否確認カード掲出訓練について、実施している町会自治会と情報共有を図り、地区全体で実施できるよう検討していく。

⑭一時集合所や広域避難場所、指定避難所等について、区ホームページや防災ポータル、防災マップ等で平時に確認しておくよう防災訓練などを通じ周知していく。

■各団体の今後の取り組みの方向性

・災害時の安否確認のため、各戸に安否確認札を配付し、災害時に玄関先や門扉に掲示する。（祖師谷第２自治会）

・役員・防災対策部メンバー・民生委員と隣近所等が協力して安否確認する体制をつくり、その安否確認の迅速かつスムーズに行うよう実施している。（祖師谷第３自治会）

・災害時の連絡手段であるトランシーバーについて、広域通信訓練を毎年実施していく。（祖師谷第４自治会）

・安否確認の具体的な方法として、各戸に安否確認札を配付し、門扉や玄関に取り付ける。また、防災無線機の通信場所ごとの訓練を定期的に行う。（祖師谷第５自治会）
・様々なイベントや訓練を通じ、お互い顔見知りになることにより、安否確認・情報収集ができるような仕組みを作っていく。（祖師谷千歳台自治会）
・各班長から災害町会本部に安否確認ができるように、班割を明確にするなどして組織的に対応できるシステムを構築中である。また、要援護者の安否確認については、民生委員と協力して町会地区範囲を回り対応していく。（千歳台睦町会）
・隣接町会と「地域防災の集い」を毎年共催し、一時集合所への避難者安否確認の機会とするとともに、地域内の顔なじみを増やす機会としても活用するなど充実を図っている。（千歳台南会）
・組単位の安否確認の取り組みとして、年２回（３月11日及び９月１日）安否確認（「無事マーク」掲示）訓練を実施している。（千歳台南会）
・スマホ不通時等の事態に備え、広域トランシーバーによる近隣町会自治会等との情報交換の訓練（「町会自治会連合会無線訓練」）を実施している。（千歳台南会）
・近隣住民の繋がりの希薄化への対応として、「ご近所力」を強化するため、声かけや見守りを積極的に行っている。（祖師谷３丁目南町会）

課題３　救出救命と避難支援

■意見（課題）
・救出資材の不足
・自宅の安全確保（耐震化・家具の転倒防止対策）がされていない家庭が多い。
・負傷者の搬送先・手段などが決まっていない。搬送先が限られており、搬送病院もわからない。
・自分⇒家族⇒近隣という順番で助け合い、救助活動が広がるような体制作りが必要。
・要援護者の情報が少ない。

・支援者となる人材（人員）が不足している。
・祖師谷地区は高齢化率が高く認知症の方も増えている。

■地区としての今後の取り組みの方向性

①チェーンソーなど救出機材の準備と操作方法を消防署の指導のもと訓練などを通じて習得する。

②倒壊家屋に閉じ込められていても、自分の存在を知ってもらえるようにホイッスルの配布を行う。

③防災訓練等を通じて区の耐震化支援事業や家具転倒防止措置の普及啓発のPRの強化を地域・行政の両面から行う。

④日頃の見守り活動や敬老事業等と通じて要援護者を把握する。

⑤指定避難所に避難するだけでなく、自宅が安全である場合は、在宅避難を検討することと、また、それに向けての備蓄品の準備についてチラシ等で周知していく。

⑥普通救命講習会を毎年継続して実施し、地区の人材育成に努める。

⑦AED の設置場所についても、「せたがや imap」やインターネットサイト等を普通救命講習会等で案内し周知していく。

■各団体の今後の取り組みの方向性

・自治会に加入しているデイホーム施設には、日中職員がいるので、日頃から交流を深め、協力体制を築いていく。（祖師谷第 3 自治会）
・役員・防災対策部メンバーのみならず、会員を対象にした積極的な救命講習受講を更に勧めていく。（祖師谷第 3 自治会）
・一時集合所及び広域避難場所等への経路や消火栓等のある場所を表す地図を作成する予定である。（祖師谷第 4 自治会）
・自治会のリヤカー等を利用し、傷病者の医療救護所への搬送及び物資運搬が行えるよう、定期的に訓練を行う。何が何でも避難所へではなく、「在宅待機」を留意する。（祖師谷第 5 自治会）
・「地域防災の集い」に救出救命の訓練（機材の使用法、救命蘇生法、救出チーム

の立上訓練等）を取り入れていく。（千歳台南会）

・町会だより等を通じて、「選択避難」・「在宅避難」の奨励を行っている。（祖師谷３丁目南町会）